

令和5年度 動物愛護週間中央行事（屋内行事）実施結果

動物愛護週間は、広く国民の間に、命ある動物の愛護と適正な使用について理解と関心を深めるために設けられており、「動物の愛護及び管理に関する法律」第4条には国及び地方公共団体はその趣旨にふさわしい行事が実施されるように努めなければならないことが定められている。

本会は、本年も東京都内で開催された「動物愛護週間中央行事」に、国及び東京都、台東区並びに動物愛護団体等で構成する動物愛護週間中央行事実行委員会のメンバーである主催者構成団体として参画した。

令和5年度 動物愛護週間中央行事（屋内行事）は、9月23日（土・祝）に「子どもも大人も一緒に考えよう、私たちと動物」をテーマに東京国際フォーラムD棟にて対面開催され、来場者数は220名であった。また、表彰式及びシンポジウムは会場での様子がオンライン配信された。

第1部では、環境省をはじめとした実行委員会構成団体による各コンクールの受賞作品等の紹介がされた。本会は「第35回日本動物児童文学賞」の大賞・優秀賞・奨励賞に入賞した計8作品の紹介及び表彰を行った。

【第35回日本動物児童文学賞 受賞作品】

〈日本動物児童文学大賞〉

「猫と戦争」 まきうちれいみ（東京都）

〈日本動物児童文学優秀賞〉

「ぼくがライフに会うまで」 川瀬えいみ（東京都）

「シュガーにさよなら」 伊東葎花（茨城県）

〈日本動物児童文学奨励賞〉

「カメ様の思し召し ーぼくのカメ飼育録ー」



開会挨拶をする令和5年度動物愛護週間中央行事実行委員会委員長の田畑直樹 日本動物愛護協会理事長

タケルノミコトモドキ（東京都）
 「おかえり リキ！」 横田善広（福島県）
 「クリスマスホーリー」 名倉せてら（愛知県）
 「『たかがペット』って言わないで！」
 こばやし きよ（群馬県）
 「サヤのおはなし」 高橋久美子（山形県）

表彰式では、本年度大賞受賞者である、まきうちれいみ氏に、白石 隆 自然環境局長から環境大臣賞が、本会蔵内会長代理の境専務理事から日本動物児童文学大賞の賞状が、森本耕造 損害保険ジャパン株式会社 団体・公務開発部第二課長から副賞がそれぞれ授与された。

優秀賞受賞者である川瀬えいみ氏に境専務理事から日本動物児童文学優秀賞の賞状が、高田直之 アニコム損害保険株式会社 給付管理部課長から副賞が授与された。

続いて優秀賞受賞者である伊東葎花氏に境専務理事から日本動物児童文学優秀賞の賞状が、森本耕造 損害保険ジャパン株式会社 団体・公務開発部第二課長から副賞が授与された。



日本動物児童文学賞受賞者記念撮影風景

後列：左からアニコム損害保険(株)給付管理部 高田課長、本会 境専務理事、環境省 白石自然環境局長、損保ジャパン(株)団体・公務開発部第二課長 森本課長

前列：左から優秀賞 伊東葎花氏、大賞 まきうちれいみ氏、優秀賞 川瀬えいみ氏

第2部では、6名の有識者による講演会「未来へつなぐ人と動物の共生 ～動物愛護管理法制定50周年シンポジウム～」が行われた。内容は以下のとおり。

【講演会】

〈講演①〉

「動物愛護管理法制定50年のあゆみ」

講師：立田理一郎氏

(環境省自然環境局動物愛護管理室長)

〈講演②〉

「犬猫への意識の変化50年」

講師：山口千津子氏

(公益社団法人 日本動物福祉協会顧問)

〈講演③〉

「人と動物のかかわりが作る社会」

講師：新島典子氏

(ヤマザキ動物看護大学・大学院教授)

〈講演④〉

「ペットの災害対策の50年」

講師：沼田一三氏 (兵庫県動物愛護センター元所長)

〈講演⑤〉

「動物愛護管理地方行政の50年」

講師：佐伯 久氏 (おおいた動物愛護センター元所長)

〈講演⑥〉

「動物園・水族館の50年」

講師：成島悦雄氏

(公益社団法人 日本動物園水族館協会顧問)